

IV 工学部

学部の目的

本学部は、産業界の多様な分野において課題の本質の理解や探究心をもたせるために、STEAM教育に基づく知識に加えて、幅広い教養や工学の基礎知識に立脚する応用力とコミュニケーション能力を強化し、発見や創造に立ち向かう主体性を身に付けた人材を育成することを目的とする。

学科の目的

工学科は、工学の専門知識や技術に加えて、人間と社会、自然と科学に関する幅広い教養を身に付け、それらから工学的視点に立って社会にイノベーションを起こす力を身に付けた工学系女性人材を育成することを目的とする。

大学在学中の授業の履修方法、卒業に必要な単位数等は、原則として、入学年度の学則及び工学部規程が、卒業するまで適用されます。

科目の履修は、入学年次の工学部規程と本冊子『専門教育ガイド』、『全学教育ガイド』、大学のWebページから見るができる『シラバス』を熟読し、各学期の始めに行われるガイダンスをふまえて、履修計画を立ててください。

また不明な点は、必ず教務担当の教員または学務課工学部係に確認してください。

1. 専門教育科目以外の履修について

基礎科目群（外国語科目・保健体育科目・情報処理科目）、教養科目群、単位互換制度による科目、キャリアプラン科目群、資格関連科目群の履修方法は『全学教育ガイド』に解説していますので、そちらを参照してください。

【放送大学教育協力型単位互換科目】

これは放送大学の授業科目を本学の教育課程の中で開講するもので、受講料を支払うことなく、4学部の全学生が受講することができます。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれません。なお、この科目の受講者を対象に、様々なアンケート調査が行われますので、ご協力ください。詳細は、『全学教育ガイド』の「他大学科目の履修 - 放送大学教育協力型単位互換科目」を参照してください。

【奈良県大学連合における単位互換について】

平成20年度より、本学は奈良県内大学間単位互換協定に加盟し、県内の7大学（帝塚山大学・天理大学・奈良大学・奈良教育大学・奈良県立大学・奈良県立医科大学・奈良学園大学）の指定された科目を履修できるようになりました。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれます。なお、この制度は2年次生以上を対象とするので、令和8年度入学生は、令和9年度から利用できます。詳細については、『全学教育ガイド』の「他大学科目の履修 - 奈良県大学連合における単位互換制度」を参照してください。

2. 専門教育科目の履修

工学部の専門教育科目は、基幹科目群（基幹必修科目・基幹発展科目）・専門科目群（専門基礎科目・専門応用科目）に区分されています。卒業要件単位の詳細は次のページのとおりです。必修区分の詳細は後述の「工学部専門教育科目一覧」に記載していますので、こちらも参照のうえ、履修計画を立ててください。

なお、編入学生は、編入された学年の入学年次のカリキュラムが適用されます。履修登録の際

に十分注意してください。

【令和7年度以前入学者】

授 業 科 目			必要 単位数	備考		
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	詳細な履修方法については『全学教育ガイド』を参照		
		保健体育科目	2			
		情報処理科目				
	計 【注1】		12			
	教養科目群		18			
教養教育科目総計			30			
専門教育科目	基幹科目群	基幹必修科目		29	3科目から、 2科目4単位以上 必修	
		基幹発展科目		13		
		計		42		
	専門科目群	専門基礎科目	コンセプトチュアルデザイン演習 (PBL)			4
			ユーザー指向開発演習 (PBL)			
			社会改善起業演習 (PBL)			
			プレゼミナール			
	専門応用科目	卒業研究		9		
		計 【注2】		38		
	専門教育科目総計			80		
卒業に必要な残りの単位数			14	【注3】		
合 計			124			

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】専門教育科目の専門科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、専門科目群の中から取得すること。

【注3】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ①工学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」（ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。）
- ②工学部規程別表Ⅲの2に定める「資格関連科目群」全て

【令和8年度以降入学者】

授 業 科 目			必要 単位数	備考	
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	詳細な履修方法については『全学教育ガイド』を参照	
		保健体育科目	2		
		情報処理科目	2		
		計 【注1】	12		
	教養科目群	16			
	教養教育科目総計	30			
専門教育科目	基幹科目群	基幹必修科目	19	3科目から、2科目 2単位以上必修 【注2】	
		生体基礎	2		
		物理基礎			
		化学基礎			
		基幹発展科目	13		
	計	34			
	専門科目群	専門基礎科目	コンセプチュアルデザイン演習 (PBL)	4	3科目から、 2科目4単位以上 必修
			ユーザー指向開発演習 (PBL)		
			社会改善起業演習 (PBL)		
			プレゼミナール	2	
専門応用科目		卒業研究	9		
計 【注3】	38				
専門教育科目総計	72				
卒業に必要な残りの単位数			22	【注4】	
合 計			124		

【注1】 教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】 必要単位数を超えて修得した「生体基礎」、「物理基礎」、「化学基礎」の単位は、基幹発展科目の単位に含めることができる。

【注3】 専門教育科目の専門科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、専門科目群の中から取得すること。

【注4】 「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

①工学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」（ただし、「現代社会と職業—大学での学びと私の仕事A/B」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。）

②工学部規程別表Ⅲの2に定める「資格関連科目群」全て

3. 1年間に履修登録できる単位数の上限

工学部では、1年間に履修科目として登録できる単位の上限を、**原則48単位**と定めています。
ただし、編入学生及び転学部の学生は、1年間に60単位を上限として対象授業科目を履修することができます。なお、入学前の既修得単位、学外での学修による単位認定等の認定単位は履修登録の上限単位には含まれません。

(1) 上限の対象となる授業科目

卒業要件単位として履修する授業科目です。卒業要件単位とは、卒業に必要な124単位に含めることができるものです。以下の科目が卒業要件単位として履修する授業科目にあたります。

- ① 教養教育科目（基礎科目群・教養科目群）
- ② 専門教育科目（他学部専門教育科目を含む）
- ③ キャリア教育科目の一部（「現代社会と職業－大学での学びと私の仕事A/B」）
- ④ 他大学（放送大学を含む）との単位互換により履修する科目

ただし「放送大学教育協力型単位互換科目」の授業科目は上限の対象外

(2) 上限の対象とならない授業科目

- ① キャリア教育科目（「現代社会と職業－大学での学びと私の仕事A/B」を除く）
- ② 卒業要件単位となる授業科目であっても、下記のものは**上限の対象外となります。**

・「放送大学教育協力型単位互換科目」の授業科目

- #### (3) 履修登録後、授業内容が期待する学習内容と相違する場合や、受講上必要な知識の不足等から履修の継続が難しいと判断する場合には、履修登録修正期間内に限りWEB上にて、履修登録を取り消すことができます。登録取消を行った科目の単位数は、履修登録上限単位数から除かれます。

4. 所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の履修登録単位数の上限緩和

*この項目は、編入学及び転学部した学生には適用されません。

以下の条件をすべて満たす学生は、次年度に履修登録の上限が緩和されることがあります。

- ① 1年間に取得した卒業要件となる授業科目の単位数が40単位以上。
- ② A評価以上の科目が取得した卒業要件となる授業科目の85%以上。
- ③ 取得した卒業要件となる授業科目のうち、評点が100点満点法による授業科目の平均点が85点以上。

該当する学生は、学務課工学部係を通じて令和8年4月3日（金）までに工学部長に申請する必要があります。申請が認められた学生は、1年間に履修科目として登録できる単位数の上限（48単位）が緩和され、56単位まで登録することが可能です。

5. 3年以上4年未満での早期卒業

*この項目は、編入学及び転学部した学生には適用されません。

工学部に3年6月以上在学し、卒業の要件として工学部が定める単位を優秀な成績で修得したものと認められた学生は、在学期間4年未満での卒業（早期卒業）が認められます。早期卒業の時期は9月又は3月です。早期卒業を希望する学生は、学務課工学部係を通じて2年次終了時に工学部長に申請してください。申請後の流れ及び成績優秀の基準は次のとおりです。

- ① 2年次終了時までの卒業要件科目の単位取得状況及び成績等に基づき、早期卒業対象学生としての適格性の審査を行います。
- ② ①の審査で早期卒業対象学生として認定を受けた学生に、卒業を希望する学期末に卒業の判定を行います。

卒業するためには、工学部が定める卒業要件の単位を取得し、かつ成績優秀でなければなりません。

- ③ 成績優秀であるかの認定は、卒業判定を行う期の前年度後期までの成績により行います。成績優秀の基準は、以下の全ての条件を満たす必要があります。
 - ・各年度において、卒業要件となる授業科目の単位数を1年間に40単位以上取得していること。
 - ・A評価以上の科目が取得した卒業要件となる授業科目の85%以上であること。
 - ・取得した卒業要件となる授業科目のうち、評点が100点満点法による授業科目の平均点が85点以上であること。

6. 学期末試験と成績

- (1) 学期末試験は、原則として各学期末、補講期間を含む授業期間中に行います。ただし、試験の実施時期や成績評価の方法は科目ごとに異なりますので、各科目のWEBシラバスをよく読み、授業中の指示および掲示に注意してください。
- (2) 病気や事故など、やむを得ない事情によって試験を受けられない場合は、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。工学部教授会において、やむを得ない事情であり、なおかつ将来の学修計画にはなはだしく支障をきたすと認められた場合は、特別の方法により成績評価が行われます。該当者は、速やかに学務課工学部係に連絡してください。
- (3) 学期ごとの成績は、指定された期間に各自で確認してください。

7. 学外での学修に係る単位の認定

次の場合、学外で履修した単位が一定の範囲で本学での履修単位として認定されることがあります。いずれの場合も学務課工学部係で事前に相談してください。

- ① 本学入学前に他の大学（短期大学を含む）に在籍していた場合

教授会で有益と認められた場合、既修得単位が本学における単位として認定されることがあります。入学後速やかに(令和8年4月6日(月)までに)申請しなければなりません。

② 本学と交流協定を締結している外国の大学に、協定に則って留学した場合

教授会で有益と認められた場合、先方の大学で履修した単位について、本学における選択科目の単位として認定されることがあります。帰国後速やかに申請しなければなりません。

③ TOEIC、TOEFL、他各種外国語検定で一定の基準を満たした場合

審査の上、各外国語の単位として認定されることがあります。詳細は『全学教育ガイド』の「履修概要 - 単位制 - 外国語科目における単位認定制度」を参照してください。手続は学期始めに行われるので、掲示を見て、提出書類と期限に注意してください。

8. 6年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム

6年一貫教育プログラムは学部(4年)と修士課程(2年)の6年間を、編入生大学院進学支援プログラムは編入後学部(2年)と大学院修士課程(2年)の4年間を切れ目なく柔軟に活用し、通常の課程では難しい長期的な研究や、インターンシップなどにチャレンジする機会を提供するものであり、学部生の間に大学院科目を先取り履修することを認め、インターンシップ、長期にわたるリサーチなどが、修士課程進学後に修了要件単位として認められる自由度の高い学修設計を可能にすることを目的として導入されました。このプログラムに選抜された学業優秀な学生は、学部4年次に、年間の履修上限以外に、10単位まで所定の大学院科目の履修が認められ、修得した単位は、修士課程工学専攻にて認定を受け、修了要件単位とすることができます。募集期間は、3年次後期の学科が定める時期であり、プログラム生の選抜は、書類審査と面接により行われます。大学院人間文化総合科学研究科への進学は、プログラム生を対象とした入試により選考を行います。

9. 専門教育科目履修モデル等の案内

全体的な注意：

「工学部規程」や本年度の『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、WEBシラバスを熟読し、ガイダンス時に別に配布する時間割モデルを参考にして履修してください。

学部の科目履修上の注意：

1～2年次のうちに、出来るだけ教養教育科目や基幹必修科目を履修するようにしてください。3年次後期に研究室配属があり、卒業研究がスタートします。

専門科目の一部は、集中講義で行われますので、開講時期など学務課の掲示板に掲示される情報に注意してください。関連する科目は多岐にわたるので、各人の関心や必要に応じて学部外の科目も履修するようにしてください。

選択必修科目については、「コンセプチュアルデザイン演習(PBL)」、「ユーザー指向開発演習(PBL)」、「社会改善起業演習(PBL)」の3科目から2科目4単位以上の履修が必要です。また、

令和8年度以降入学生については、「生体基礎」、「物理基礎」、「化学基礎」の3科目から2科目2単位以上の履修が必要です。

工学部履修モデル（人間情報分野）【令和7年度以前入学者】

	基幹科目群		専門科目群 38単位以上	
	★基幹必修科目 29単位	基幹発展科目 13単位以上	専門基礎科目	専門応用科目
1年次前期	(前半) △化学基礎 △生体基礎 △微分積分 プログラミング基礎 電子工学 □自己プロデュースI・II 批判的思考I △エンジニアリング演習 (PBL)	(後半) △創造とデザイン の理論 △物理基礎		
1年次後期	(前半) △線形代数 △計測工学概論 △先端設計生産 工学概論 情報学概論 プログラミング実践 △価値創造体験演習 (PBL)	(後半) △確率・統計 △機械工学概論 △□エンジニア リングビジネス 概論		
2年次前期	造形基礎演習I	(前半) △アナログ回路 応用線形代数 離散数学 熱力学 材料力学 電磁気学 (後半) △デジタル回路	医工学概論 ☆コンセンチュアルデザイン演習 (PBL)	
2年次後期	技術者倫理	(前半) △多変量解析 基礎生理学	(後半) △感性工学	
3年次前期		人間工学	最適化 センサ工学 生体計測基礎実習	関係データ分析 五感情報設計演習 □ヒューマンインターフェース演習 □ヘルスプロモーション ヒューマンキネティクス プロダクトデザイン演習 ★卒業研究I
3年次後期		機械力学	(後半) 生活支援と福祉 工学 パターン認識 □メディア工学演習 △□信頼性工学 認知神経科学	
4年次前期				★卒業研究II
4年次後期				★卒業研究III

★必修科目 ☆選択必修科目 △1単位科目 □集中開講科目

工学部履修モデル（環境デザイン分野）【令和7年度以前入学者】

	基幹科目群		専門科目群 38単位以上	
	★基幹必修科目 29単位	基幹発展科目 13単位以上	専門基礎科目	専門応用科目
1年次前期	(前半) △化学基礎 △生体基礎 △微分積分 プログラミング基礎 造形基礎演習I □自己プロデュースI・II 批判的思考I △エンジニアリング演習 (PBL)	(後半) △創造とデザイン の理論 △物理基礎		
1年次後期	(前半) △線形代数 △計測工学概論 △先端設計生産 工学概論 プログラミング実践 技術者倫理 △価値創造体験演習 (PBL)	(後半) △確率・統計 △機械工学概論 △□エンジニア リングビジネス 概論	物理化学実験	
2年次前期	電子工学	人間工学 材料力学 物理化学	(前半) △先端設計生産 工学実習I 環境・防災科学 応用物理化学実験	
2年次後期	情報学概論	(前半) △□起業論 基礎生理学 有機化学 造形基礎演習II 技術と理念の日本美術史	無機化学 機器分析化学 有機・無機化学実験	プロダクトデザイン演習
3年次前期		熱力学	建築環境工学 有機化学演習 高分子構造 ★プレゼミナール ☆□ユーザー指向開発演習 (PBL)	有機物構造決定法 建築都市発展演習I 環境人間工学実習
3年次後期			△□信頼性工学 生体計測基礎実習 ☆□社会改善起業演習 (PBL)	(前半) 先端設計生産工 学実習II 高分子材料学 建築都市発展演習II ★卒業研究I
4年次前期				★卒業研究II
4年次後期				★卒業研究III

★必修科目 ☆選択必修科目 △1単位科目 □集中開講科目

工学部履修モデル（人間情報分野）【令和8年度以降入学者】

	基幹科目群		専門科目群	
	★基幹必修科目 21単位	基幹発展科目 13単位以上	専門基礎科目	専門応用科目
1年次前期	(前半) △化学基礎 △生体基礎 微分積分I プログラミング基礎 電子工学 批判的思考I △エンジニアリング演習 (PBL)	(後半) △物理基礎 自己プロデュース	(後半) △創造とデザインの理論	
1年次後期	(前半) △線形代数 △計測工学概論 △先端設計生産工学概論 △価値創造体験演習 (PBL)	(後半) 物理化学実験 プログラミング実践		
2年次前期	造形基礎演習I	(前半) △アナログ回路 応用線形代数 離散数学 電磁気学 (後半) △デジタル回路	熱力学 材料力学 医工学概論 ☆コンセプトデザイン演習 (PBL)	
2年次後期	技術者倫理	(前半) △多変量解析 基礎生理学	(後半) △感性工学 最適化 センサ工学 生体計測基礎実習	
3年次前期		人間工学	関係データ分析 ★プレゼミナール ☆□ユーザー指向開発演習 (PBL)	五感情報設計演習 □ヒューマンインターフェース演習 □ヘルスプロモーション ヒューマンキネティクス
3年次後期			(後半) 生活支援と福祉工学 機械力学 △□信頼性工学 認知神経科学	パターン認識 プロダクトデザイン演習 ★卒業研究I
4年次前期				★卒業研究II
4年次後期				★卒業研究III

★必修科目 ☆選択必修科目 △1単位科目 □集中開講科目

工学部履修モデル（環境デザイン分野）【令和8年度以降入学者】

	基幹科目群		専門科目群	
	★基幹必修科目 21単位	基幹発展科目 13単位以上	専門基礎科目	専門応用科目
1年次前期	(前半) △化学基礎 △生体基礎 微分積分I プログラミング基礎 造形基礎演習I 批判的思考I △エンジニアリング演習 (PBL)	(後半) △物理基礎 自己プロデュース	(後半) △創造とデザインの理論	
1年次後期	(前半) △線形代数 △計測工学概論 △先端設計生産工学概論 技術者倫理 △価値創造体験演習 (PBL)	(後半) 物理化学実験 プログラミング実践		
2年次前期	電子工学	人間工学 材料力学 物理化学	(前半) △先端設計生産工学実習I 環境・防災科学 応用物理化学実験	
2年次後期		(前半) △□起業論 基礎生理学 有機化学 造形基礎演習II 技術と理念の日本美術史	無機化学 機器分析化学 有機・無機化学実験	プロダクトデザイン演習
3年次前期			熱力学 建築環境工学 有機化学演習 高分子構造 ★プレゼミナール ☆□ユーザー指向開発演習 (PBL)	有機物構造決定法 建築都市発展演習I 環境人間工学実習
3年次後期			機械力学 △□信頼性工学 生体計測基礎実習 ☆□社会改善起業演習 (PBL)	(前半) 先端設計生産工学実習II 高分子材料学 建築都市発展演習II ★卒業研究I
4年次前期				★卒業研究II
4年次後期				★卒業研究III

★必修科目 ☆選択必修科目 △1単位科目 □集中開講科目

10. 編入学生のために

- (1) 令和8年度に第3年次に編入学した学生には、原則として令和6年度入学生と同じ学則及び工学部規程が卒業時まで適用されます。工学部規程をよく読み、履修科目の構成や単位修得の条件など、注意して履修してください。

なお、科目の見直し等で工学部規程に記載されている科目名称と開講科目が異なることがあります。不明な点は必ず教務担当の教員または学務課工学部係に確認してください。

- (2) 「3. 1年間に履修登録できる単位数の上限」に記載しているとおり、編入学生は、1年間に60単位を上限として対象授業科目を履修することができます。なお、入学前の既修得単位、学外での学修による単位認定等の認定単位は履修登録の上限単位には含まれません。
- (3) 編入学生は、入学時の単位認定が履修計画にも影響することとなりますので、教務担当の教員に相談して履修指導を受け、卒業までの履修計画を立ててください。

11. 工学部で取れる資格

工学部では、指定科目を履修して二級建築士、木造建築士の受験資格を得ることができます。詳しくは担当教員（長田）に確認してください。

その他の取得可能な資格に関して、全学教育ガイドの資格に関する項目に掲載しています。

工学部専門教育科目一覧

■は、本年度開講せず。

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位			開講期	対象学年	備考
				必修	選択必修	選択			
基幹科目群									
基幹必修科目									
8210000A1	微分積分	川口	2	1			前期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象 隔週開講
8210001A1	微分積分 I	川口	2	2			前期	1回生	令和8年度以降入学者対象
8210005A1	線形代数	川口	2	1			後期	1回生以上	
8210010A1	確率・統計	川口	2	1			後期	1回生以上	
8210015A1	情報学概論	〈伊藤〉	2	2			後期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210020D1	プログラミング基礎	安在・梶	4	2			前期	1回生以上	
8210025D1	プログラミング実践	安在・梶	4	2			後期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210030A1	電子工学	佐藤	2	2			前期	1回生以上	
8210035A1	計測工学概論	佐藤	2	1			後期	1回生以上	
8210040A1	機械工学概論	〈平〉	2	1			後期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210045A1	先端設計生産工学概論	〈入野〉・〈小林〉 ・〈廣野〉・〈萩原〉 ・〈山田〉	2	1			後期	1回生以上	
8210050A1	生体基礎	芝崎	2	1			前期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210055A1	物理基礎	〈上村〉	2	1			前期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210060A1	化学基礎	三方	2	1			前期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210050A1	生体基礎	芝崎	2		1		前期	1回生	令和8年度以降入学者対象 3科目から、2科目2単位 以上選択必修
8210055A1	物理基礎	〈上村〉	2		1		前期	1回生	
8210060A1	化学基礎	三方	2		1		前期	1回生	
8210065A1	創造とデザインの理論	〈藤田(盟)〉	2	1			前期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210070B1	造形基礎演習 I	長谷・長田・ 〈倉〉・〈坂下〉	2	2			前期	1回生以上	
8210075E1	自己プロデュース I	〈古川〉	2	1			前期 集中	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210080E1	自己プロデュース II	〈古川〉	2	1			前期 集中	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210085B1	批判的思考 I	〈藤田(盟)〉・ 田中・天ヶ瀬・ 水垣・〈橋本〉・ 〈北條〉・〈梶尾〉	2	2			前期	1回生以上	不定期。 一部集中。
8210090A1	技術者倫理	〈鈴木〉	2	2			後期	1回生以上	
8210095A1	エンジニアリングビジネス 概論	〈駒谷〉	(15)	1			集中	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210100B1	エンジニアリング演習 (PBL)	全教員	(15)	1			前期 不定期	1回生以上	
8210105B1	価値創造体験演習(PBL)	全教員	(15)	1			不定期	1回生以上	
基幹発展科目									
8210025D1	プログラミング実践	安在・梶	4			2	後期	1回生	令和8年度以降入学者対象
8210065A1	創造とデザインの理論	〈藤田(盟)〉	2			1	前期	1回生	令和8年度以降入学者対象
8210250A1	応用線形代数	吉田	2			2	前期	1回生以上	
8210255A1	多変量解析	吉田	2			1	後期	1回生以上	
8210260A1	離散数学	〈古田〉	2			2	前期	1回生以上	
8210265A1	アナログ回路	才脇	2			1	前期	1回生以上	
8210270A1	デジタル回路	才脇	2			1	前期	1回生以上	
8210275A1	知能ロボット					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象

〈 〉の担当教員は非常勤講師

は、本年度開講せず。

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位			開講期	対象学年	備考
				必修	選択必修	選択			
8210280A1	技術史	才脇	(15)			1	後期集中	1回生以上	
8210285A1	人間工学	佐々	2			2	前期	1回生以上	
8210290A1	機械力学	〈小柴〉	2			2	後期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210295A1	熱力学					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210300A1	電磁気学	〈藤田〉	2			2	前期	1回生以上	
8210305A1	流体力学	〈坂本〉	2			2	前期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210310A1	材料力学	〈藤本〉	2			2	前期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210315A1	基礎生理学	芝崎	2			2	後期	1回生以上	
8210320A1	物理化学	山本	2			2	前期	1回生以上	
8210325A1	有機化学	三方	2			2	後期	1回生以上	
8210330C1	物理化学実験	大背戸・山本・庄司	4			1	後期	1回生以上	1・2回生推奨
8210335B1	造形基礎演習Ⅱ	長谷・〈倉〉	2			2	後期	1回生以上	
8210340B1	批判的思考Ⅱ					1		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210345A1	歴史文化工学	〈前川〉	2			2	後期	1回生以上	
8210350A1	技術と理念の日本美術史					2		1回生以上	
8210355A1	植物生産学					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210360B1	イノベーション演習					1		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210365A1	情報ビジネス					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210370A1	起業論	〈秋山〉	2			1	後期集中	1回生以上	
8210375B1	自己プロデュース	〈古川〉	2			2	前期	1回生	令和8年度以降入学者対象
専門科目群									
専門基礎科目									
8210290A1	機械力学	〈小柴〉	2			2	後期	1回生	令和8年度以降入学者対象
8210295A1	熱力学					2		1回生	令和8年度以降入学者対象
8210305A1	流体力学	〈坂本〉	2			2	前期	1回生	令和8年度以降入学者対象
8210310A1	材料力学	〈藤本〉	2			2	前期	1回生	令和8年度以降入学者対象
8210500A1	最適化	〈古田〉	2			2	後期	1回生以上	
8210505A1	パターン認識	吉田	2			2	後期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210510A1	センサ工学	佐藤・梶	2			2	後期	1回生以上	
8210515B1	メディア工学演習					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210520A1	生活支援と福祉工学	安在	4			2	後期	1回生以上	
8210525A1	信頼性工学	才脇・吉田	(15)			1	後期集中	1回生以上	
8210530D1	先端設計生産工学実習Ⅰ	〈入野〉・〈小林〉・〈廣野〉・〈萩原〉・〈山田〉	4			1	前期	1回生以上	
8210535A1	医工学概論	芝崎・中田	2			2	前期	1回生以上	
8210540A1	生体力学	大高	2			2	後期	1回生以上	
8210545A1	認知神経科学	中田	2			2	後期	1回生以上	
8210550D1	生体計測基礎実習	芝崎・中田・大高・伊藤	4			2	後期	1回生以上	
8210555A1	感性工学	佐々	2			1	後期	1回生以上	
8210560A1	物性工学					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象

〈 〉の担当教員は非常勤講師

は、本年度開講せず。

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位			開講期	対象学年	備考
				必修	選択必修	選択			
8210565A1	高分子構造	黒子	2			2	前期	1回生以上	
8210570A1	無機化学	山本	2			2	後期	1回生以上	
8210575A1	機器分析化学	大背戸	2			2	後期	1回生以上	
8210577B1	有機化学演習	庄司	2			2	前期	1回生以上	
8210580C1	応用物理化学実験	大背戸	4			2	前期	1回生以上	
8210585C1	有機・無機化学実験	三方・庄司	5			2	後期	1回生以上	
8210590A1	建築環境工学	佐々	2			2	前期	1回生以上	
8210595A1	都市・建築デザイン学	長田	2			2	後期	1回生以上	
8210596A1	建築一般構造学					2		1回生以上	
8210597B2	建築施工学					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210600A1	環境・防災科学	〈藤井〉	2			2	前期	1回生以上	
8210605A1	プロジェクト・マネジメント					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210610B1	エンジニアリングビジネス演習					1		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210615E1	プレゼミナール	全教員	2	2			前期	1回生以上	
8210620B1	コンセプトチュアルデザイン演習(PBL)	長谷・長田・ 〈豊永〉	2		2		前期	1回生以上	3科目から、 2科目4単位 以上選択必修
8210625B1	ユーザー指向開発演習(PBL)	長谷・佐々	(30)		2		前期集中	1回生以上	
8210630B1	社会改善起業演習(PBL)	長谷・杉村	(30)		2		集中	1回生以上	
8210635D1	金融工学	〈ピアソン〉	(15)			1	集中	1回生以上	
8210750A1	関係データ分析	吉田	2			2	前期	1回生	令和8年度以降入学者対象
専門応用科目									
8210750A1	関係データ分析	吉田	2			2	前期	2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210505A1	パターン認識	吉田	2			2	後期	1回生	令和8年度以降入学者対象
8210755B1	五感情報設計演習	佐藤	2			2	前期	1回生以上	
8210760B1	ヒューマンインターフェース演習	才脇	(30)			2	前期集中	1回生以上	
8210765D1	先端設計生産工学実習Ⅱ	〈入野〉・〈小林〉・ 〈廣野〉・〈萩原〉・ 〈山田〉	4			2	後期	1回生以上	
8210770A1	ヘルスプロモーション	中田	(30)			2	前期集中	1回生以上	
8210775E1	ヒューマンキネティクス	大高	2			2	前期	1回生以上	
8210780A1	生体機能学	芝崎	(30)			2	前期集中	1回生以上	
8210785B1	生体医工学演習	芝崎・中田・ 大高・伊藤	(30)			2	前期集中	1回生以上	
8210790A1	有機工業化学					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210795A1	高分子材料学	〈網代〉	2			2	後期	1回生以上	
8210800A1	機能性高分子化学		2			2		1回生以上	
8210805A1	機能性有機材料化学	〈宇田〉	(15)			1	後期集中	1回生以上	
8210810A1	電気化学					2		2回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210812A1	有機物構造決定法	三方	2			2	前期	1回生以上	
8210815D1	環境人間工学実習	佐々	4			2	前期	1回生以上	
8210820B1	プロダクトデザイン演習	〈寶角〉	2			2	後期	1回生以上	
8210825B1	建築都市発展演習Ⅰ	長田	3			3	前期	1回生以上	
8210830B1	建築都市発展演習Ⅱ	長田	3			3	後期	1回生以上	

〈 〉の担当教員は非常勤講師

は、本年度開講せず。

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週 時 数	単 位			開 講 期	対 象 学 年	備 考
				必 修	選 択 必 修	選 択			
8210831A1	建築構造力学	〈松浦〉	4			3	後期	1 回生以上	
8210832A1	建築生産学					1		1 回生以上	
8210834A1	建築法規					1		1 回生以上	
8210835B1	芸術文化発展演習	長谷	2			2	前期	1 回生以上	
8210840A1	河川・海岸工学					2		1 回生以上	
8210845B1	プロジェクト・デザイン演習					2		2 回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210850A1	コミュニケーション工学					1		2 回生以上	令和7年度以前入学者対象
8210855F3	卒業研究Ⅰ	全教員		3			後期	3 回生以上	
8210860F4	卒業研究Ⅱ	全教員		3			前期	4 回生	
8210865F4	卒業研究Ⅲ	全教員		3			後期	4 回生	

〈 〉の担当教員は非常勤講師

工学部専門教育科目 時間割表

教室はシラバスでご確認ください。

前期		工学部工学科(R7年度以前入学者)									
		基幹必修科目		基幹発展科目		専門基礎科目		専門応用科目			
		授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員		
月	1・2	化学基礎(前半)	三方								
		創造とデザインの理論(後半)	〈藤田(盟)〉								
	3・4	電子工学	佐藤			医工学概論	芝崎 中田				
						有機化学演習	庄司				
	5・6			人間工学	佐々						
	7・8			物理化学	山本	環境・防災科学	〈藤井〉	有機物構造決定法	三方		
	9・10			電磁気学	〈藤田(直)〉						
火	1・2										
	3・4										
	5・6	プログラミング基礎	安在・楳			先端設計生産工学実習Ⅰ(前半)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉				
	7・8										
	9・10										
水	1・2							五感情報設計演習	佐藤		
	3・4										
	5・6			材料力学	〈藤本〉						
	7・8										
	9・10			流体力学	〈坂本〉						
木	1・2	生体基礎(前半)	芝崎	離散数学	〈古田〉						
		物理基礎(後半)	〈上村〉								
	3・4			アナログ回路(前半)	才脇	高分子構造	黒子	ヒューマンキネティクス	大高		
				デジタル回路(後半)	才脇	建築環境工学	佐々				
	5・6							関係データ分析	吉田		
	7・8			応用線形代数	吉田						
9・10											
金	1・2					コンセプチュアルデザイン 演習(PBL)	長谷 長田 〈豊永〉				
	3・4										
	5・6	造形基礎演習Ⅰ	長谷 長田 〈倉〉 〈坂下〉			応用物理化学実験(～9時限)	大背戸	環境人間工学実習	佐々		
	7・8										
	9・10	微分積分	川口					建築都市発展演習Ⅰ	長田		
集中 その他	【前期】	批判的思考Ⅰ	〈藤田(盟)〉 田中 天ヶ瀬 水垣 〈橋本〉 〈北條〉 〈梶尾〉	【前期】		【前期】	プレゼминаール	全教員	【前期】	卒業研究Ⅱ	全教員
	【前期集中】	自己プロデュースⅠ	〈古川〉	【前期集中】		【前期集中】	ユーザー指向開発演習 (PBL)	長谷 佐々	【前期集中】	ヒューマンインターフェース 演習 ヘルスプロモーション	才脇 中田 芝崎 中田 大高 伊藤 芝崎
		自己プロデュースⅡ	〈古川〉								
	【前期不定期】	エンジニアリング演習(PBL)	全教員	【前期不定期】		【前期不定期】			【前期不定期】	生体医工学演習	
	【不定期】	価値創造体験演習(PBL)	全教員	【不定期】		【不定期】			【不定期】	生体機能学	
	【集中】	エンジニアリングビジネス概 論	〈駒谷〉	【集中】		【集中】	社会改善起業演習(PBL)	長谷 杉村 〈ピアソン〉	【集中】		
							金融工学				

(注) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

後期	工学部工学科(R7年度以前入学者)								
	基幹必修科目		基幹発展科目		専門基礎科目		専門応用科目		
	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	
月	1・2								
	3・4	情報学概論	〈伊藤〉			機器分析化学	大背戸		
	5・6					生体計測基礎実習	芸術文化発展演習	長谷	
	7・8								芝崎 中田 大高 伊藤
	9・10	線形代数(前半)	川口	機械力学	〈小柴〉				
		確率・統計(後半)	川口						
火	1・2								
	3・4								
	5・6			物理化学実験(前半)	大背戸 山本 庄司	生活支援と福祉工学(後半)	安在	先端設計生産工学実習Ⅱ(前半)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉
	7・8								
	9・10					センサ工学	佐藤 楳		
水	1・2	先端設計生産工学概論(前半)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉			最適化	〈古田〉		
	3・4	技術者倫理	〈鈴木〉	有機化学	三方	認知神経科学	中田		
	5・6								
	7・8								
	9・10								
木	1・2			歴史文化工学	〈前川〉	生体力学	大高		
	3・4			基礎生理学	芝崎				
	5・6					パターン認識	吉田	高分子材料学	〈網代〉
	7・8			多変量解析(前半)	吉田	感性工学(後半)	佐々	プロダクトデザイン演習	〈寛角〉
	9・10								
金	1・2			造形基礎演習Ⅱ	長谷 〈倉〉				
	3・4					都市・建築デザイン学	長田		
	5・6	プログラミング実践	安在・楳			有機・無機化学実験(~9時限)	三方・庄司	建築構造力学	〈松浦〉
	7・8								
	9・10	計測工学概論(前半)	佐藤						建築都市発展演習Ⅱ
機械工学概論(後半)		〈平〉							
集中 その他	【後期】		【後期】		【後期】		【後期】		
	【後期集中】		【後期集中】		【後期集中】		【後期】		
			技術史	才脇	信頼性工学	才脇 吉田	卒業研究Ⅰ	全教員	
			起業論	〈秋山〉			機能性有機材料化学	〈宇田〉	

(注) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

前期		工学部工学科(R8年度以降入学者)							
		基幹必修科目		基幹発展科目		専門基礎科目		専門応用科目	
		授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2	化学基礎(前半)	三方	創造とデザインの理論(後半)	〈藤田(盟)〉				
	3・4	電子工学	佐藤			医工学概論	芝崎 中田		
						有機化学演習	庄司		
	5・6			人間工学	佐々				
	7・8			物理化学	山本	環境・防災科学	〈藤井〉	有機物構造決定法	三方
9・10			電磁気学	〈藤田(直)〉					
火	1・2								
	3・4								
	5・6	プログラミング基礎	安在 楯			先端設計生産工学実習Ⅰ(前半)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉		
	7・8								
	9・10								
水	1・2							五感情報設計演習	佐藤
	3・4								
	5・6					材料力学	〈藤本〉		
	7・8								
	9・10					流体力学	〈坂本〉		
木	1・2	生体基礎(前半)	芝崎	離散数学	〈古田〉				
		物理基礎(後半)	〈上村〉						
	3・4			アナログ回路(前半)	才脇	高分子構造	黒子	ヒューマンキネティクス	大高
				デジタル回路(後半)	才脇	建築環境工学	佐々		
				自己プロデュース	〈古川〉				
	5・6					関係データ分析	吉田		
7・8			応用線形代数	吉田					
9・10									
金	1・2					コンセプチュアルデザイン 演習(PBL)	長谷 長田 〈豊永〉		
	3・4								
	5・6	造形基礎演習Ⅰ	長谷 長田 〈倉〉 〈坂下〉			応用物理化学実験(～9時限)	大背戸	環境人間工学実習	佐々
	7・8								
	9・10	微分積分Ⅰ	川口					建築都市発展演習Ⅰ	長田
集中 その他	【前期】		〈藤田(盟)〉 田中 天ヶ瀬 水垣 〈橋本〉 〈北條〉 〈梶尾〉	【前期】		【前期】		【前期】	
	批判的思考Ⅰ					プレゼミナール	全教員	卒業研究Ⅱ	全教員
	【前期集中】			【前期集中】		【前期集中】		【前期集中】	
	エンジニアリング演習 (PBL)		全教員			ユーザー指向開発演習 (PBL)	長谷 佐々	ヒューマンインターフェー ス演習	才脇
	【前期不定期】 エン지니어リング演習 (PBL)			【前期不定期】		【前期不定期】		ヘルスプロモーション	中田 芝崎 中田 大高 伊藤 芝崎
【不定期】 価値創造体験演習(PBL)		全教員	【集中】		【集中】		生体医工学演習		
【集中】					【集中】		生体機能学		
					【前期不定期】		【前期不定期】		
					【集中】		【集中】		
					社会改善起業演習(PBL)		長谷 杉村 〈ピアソン〉		
					金融工学				

(注) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

後期		工学部工学科(R8年度以降入学者)								
		基幹必修科目		基幹発展科目		専門基礎科目		専門応用科目		
		授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	
月	1-2									
	3-4					機器分析化学	大背戸 芝崎			
	5-6					生体計測基礎実習	中田 大高 伊藤	芸術文化発展演習	長谷	
	7-8					無機化学	山本			
	9-10	線形代数(前半) 確率・統計(後半)	川口 川口			機械力学	〈小柴〉			
火	1-2									
	3-4									
	5-6								〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉	
	7-8			物理化学実験(前半)	大背戸 山本 庄司	生活支援と福祉工学(後半)	安在	先端設計生産工学実習Ⅱ(前半)		
	9-10					センサ工学	佐藤 楳			
水	1-2	先端設計生産工学概論(前半)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉			最適化	〈古田〉			
	3-4	技術者倫理	〈鈴木〉	有機化学	三方	認知神経科学	中田			
	5-6									
	7-8									
	9-10									
木	1-2			歴史文化工学	〈前川〉	生体力学	大高			
	3-4			基礎生理学	芝崎					
	5-6							パターン認識 高分子材料学	吉田 〈網代〉	
	7-8			多変量解析(前半)	吉田	感性工学(後半)	佐々	プロダクトデザイン演習	〈寛角〉	
	9-10									
金	1-2			造形基礎演習Ⅱ	長谷 〈倉〉					
	3-4					都市・建築デザイン学	長田			
	5-6									
	7-8			プログラミング実践	安在 楳	有機・無機化学実験(~9時限)	三方 庄司	建築構造力学	〈松浦〉	
	9-10	計測工学概論(前半)	佐藤					建築都市発展演習Ⅱ	長田	
集中 その他	【後期】		【後期】		【後期】		【後期】		卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅲ	全教員 全教員
	【後期集中】		【後期集中】		【後期集中】		【後期集中】		機能性有機材料化学	〈宇田〉
			技術史	才脇	信頼性工学	才脇 吉田				
			起業論	〈秋山〉						

(注) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

工学部専門教育科目 積極開放科目

ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位	開講期	備考
8210065A1	創造とデザインの理論	〈藤田〉	2	1	前期	
8210280A1	技術史	才脇	(15)	1	後期 集中	
8210535A1	医工学概論	芝崎・中田	2	2	前期	

〈 〉 の担当教員は非常勤講師